

競技注意事項

競技会の進行

本大会は2026年度（公財）日本陸上競技連盟規則に準ずる。

トラック種目の組み合わせ、レーン順およびフィールド種目の試技順は、主催者において定める。

フィールド競技の試技順は、プログラム記載通りとする。

競技への参加

各学校の陸上部顧問又は所属校の教諭、学校長が認めた責任者による引率がない場合は、出場を認めない。

競技者の招集は、下表のとおり行う。招集所はゴール地点後方のゲートを出た右手前方付近に設置する。

	開始時間	終了時間	リレー種目のオーダー締切
トラック	30分前	20分前	招集完了60分前
フィールド	40分前	30分前	

代理人による招集手続きは認めない。種目を兼ねていて、競技時間と招集時間が重なっている場合は、招集所に必ず申し出ること。招集を時間内に受けなかった場合、出場の意思がないものとみなし、棄権扱いとする。（競技には参加できない）リレー種目のオーダー用紙は、招集所の競技者係に提出する。提出後のオーダー変更は、原則として認めない。出場するメンバーのうち、少なくとも2名はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。

●アスリートビブスについて

- ・ユニフォームの胸・背部に確実につけること。
- ・アスリートビブスの作成方法については、**令和8年度陸上競技主要大会日程要項**を確認すること。
- ・トラック種目では、レーンナンバーを右腰部につけ使用する。レーンナンバーは各自で準備すること。
- ・3000m以上の競技に出場する選手は、レーンナンバーとアスリートビブスを各自で用意すること。
- ・リレー種目は第4走者の選手がレーンナンバーをつけること。（4×400mRでは、第2走者と第3走者も右腰につけ使用する。）
- ・跳躍競技は、胸部または背部のいずれか一方で良い。
- ・**決勝に進んだ場合もレーンナンバーは各自で用意すること。**

●トラック種目

- ・800m競走においては、初めの第一曲走路はレーンを用いる。
- ・4×400mRは第二走者の第一曲走路まではレーンを用いる。第三走者からは前走者が第3コーナー（200mのスタート地点）を通過した順序で、内側より並び待機する。その後この順序を変えてはならない。違反した場合は失格とする。
- ・スタートについて競技規則162条5(a)(b)(c)を行った時、イエローカードを示し、警告を与える。ただし、(c)のいわゆる「ピクつき動作」を行った場合、最初は注意に留めるが、繰り返し行う場合はイエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
- ・800m以上の種目において、招集の際に靴底の厚さの確認を行います。レースに使用するシューズを持参の上、招集所に集まること。※公認シューズについてはHPを参照すること。

●フィールド種目

- ・競技用具は競技場備えつけの物を使用する。但し、持参した用具で使用を希望する場合は本部にて検定を受け、使用の許可を得ること。またその場合、他の競技者にも使用させねばならない。
- ・フィールド種目の練習は、審判員の指示に従って行う。
- ・走高跳のバーの上げ方は以下のようにする。

男子	1.40（練習）	45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	…以降3cm
女子	1.15（練習）	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	…以降3cm		

- ・競技開始の高さについては、天候・練習状況などにより、審判長の判断で変更する場合がある。表に記載されていない高さについては審判長の指示に従う。
- ・三段跳びの踏切は、男子11m・女子9mとする。
- ・投擲種目については、ペグを用いて最高記録のみの測定とし、一投一測定は実施しない。

●抽選・決定レース

- ・本大会では、トラック種目において同タイムの場合、原則抽選において次のラウンド進出者を決定する。但し、同組において同タイムの場合、着差を優先する。

●ウォーミングアップエリアについて

- ・競技に支障のない範囲で、第2～第3 コーナーまでの5～8 レーンまでをウォーミングアップエリアと、雨天走路のみとする。接触事故など起こらないよう周囲に十分気をつけてアップを行うこと。また、審判員の指示には必ず従うこと。

※競技場外でのジョギング以外のアップは禁止します。

●コーチングエリアについて

- ・フィールド競技は以下のようにコーチングエリアを設置する。

種目	場所
走高跳	第4 コーナー付近スタンド
走幅跳・三段跳	メインスタンド両端階段下
棒高跳	第1 コーナーから第2 コーナー間スタンド
投てき種目	第3 コーナーから、第4 コーナー間スタンド

●助力について

- ・ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話、もしくはそれらに類似した機器を競技区域内での所持または使用する事は、助力とみなされ許可しない【競技規則 TR6. 3. 2】

●撮影について

- ・競技場内でカメラやスマートフォンなどを用いて撮影を行う場合は、必ず周囲から見えるようにAD カードを着用してください。着用していない場合は、撮影することができません。撮影の際、AD カードを身につけていない場合や不審な状況が見られる場合は、役員から声をかけることがあります。
- ・競技者が最高のパフォーマンスを発揮できる環境を整えるため、競技者が不快や不安を感じる恐れのあるすべての方向からの撮影や行動を禁止させていただきます。

●入賞および都大会申し込みについて

- ・各種目8位入賞には、賞状を授与し、都大会への出場権が与えられる。
- ・都大会の申し込みは、大会2日目の競技終了後、正面玄関ロビーで行う。なお、同時に都大会の入場抽選をおこないます。希望する学校は代表1名が参加してください。直接種目の標準記録は下の表参照。受付をしなかった学校は、都大会への出場権利を放棄するものとみなす。

●熱中症対策について

近年の気温上昇に伴い、陸上競技大会においても熱中症リスクへの対応が重要となっております。本大会では、WGBT(暑さ指数)が31を超えた場合、競技の方法を一部変更、または中止とさせていただく可能性がございます。参加者・関係者の皆様の安全を最優先に考えた判断となります。選手の皆さんが安全に、参加できるよう各校で**必ず氷(応急処置用・身体冷却用)・経口補水液**を準備してください。大会本部でも可能な限り熱中症に対しての準備を行います。参加者全員分の対応は困難なため、**各校での対策をお願いいたします。**

●その他

- ・競技中に事故が発生した場合、その学校の責任において対応を行って下さい。
- ・開門は8時を予定しています。入場抽選は7時50分より行います。
- ・メインスタンドへはスパイクを脱いで上がってください。
- ・ゴミは各校各自で責任をもって持ち帰り下さい。自販機のゴミ箱に捨てるなど、不適切な扱いはしないでください。
- ・忘れ物は大会終了後処分となってしまいますので管理を徹底してください。
- ・ファイナルチェックの担当校は、1日目、三田国際・農芸。2日目、駒大高校・國學院久我山になります。すべての競技終了後、代表者の方は本部にて指示を受けて担当場所のチェックをお願いします。
- ・競技場外での行動については十分に注意をしてください。弓道場前の芝生には立ち入らないでください。コンクリートの通路は道をあけてください。競技場以外の場所は優先的に使用することはできません。
- ・各校におかれましても、大会運営にご協力お願いいたします。